KOYAMA FUKUSEI HOSPITAL

かえでの森

第９８号　　２０２３年　１２月　１日

発　行　所／神山復生病院　〒412-0033御殿場市神山109　(TEL)0550-87-0004　(Fax)0550-87-5360
(E-mail)info@fukusei.jp　(ホームページ) https://www.fukusei.jp/

《 理　　念 》

神山復生病院は　キリストの愛に基づいて　病める人も健やかな人も　神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら　一人ひとりの命を大切にし　希望をもって医療と福祉に献身します

もうすぐ今年も終わります
～私が管理者になって～

小規模多機能型居宅介護事業所マリアの家
管理者　小野　雄大

４月１日に管理者に就任してから、早いもので８か月が過ぎました。その間いろいろなことがありました。私は、昨年の 12 月 1 日にマリアの家に就職し、昨年の 12 月は、認知症介護実践者研修のレポートに追いかけられていました。12 月 23・24 日に長野県松本市に研修を受けに行き、クリスマス寒波が襲ってくると天気予報は大騒ぎの中、雪を知らない私は、ノーマルタイヤにチェーンのみを持って長野に向かいました。長野に近づくにつれ雪がチラチラ舞い始め、諏訪のサービスエリアで給油した時にガソリンスタンドの店員さんに、「ブラックアイスバーンって知ってる？ノーマルタイヤだと事故るよ」と言われて、不安の中松本に到着し、ホッとしたのも束の間、翌朝まさにブラックアイスバーンを体感しました。会場まで、そーっと運転し研修中も雪が降り止むことはなく、恐る恐る松本のオートバックスまで運転して行き、スタットレスに履き替えて事なきを得ました。
あれから１年・・・。
本当に色々なことがありました。勤務表を作ることもなんと難しいこと。「管理」とは本当に難しいと感じる 8 か月でした。しかし、諸々の困難に直面した時、救ってくれたのは、職員の皆さんでした。8 月に私の骨折による入院、9 月にコロナウイルス感染症のクラスター発生、職員の病欠など現場を回すだけでも本当に大変な日々でした。そんな中で、文句も言わずに必死にマリアの家を守ってくれた職員には感謝しかありません。利用者様にも多大なご迷惑をおかけしました。心苦しい限りです。しかし、この困難を乗り越えたマリアの家職員並びに、ご助力頂いた神山復生会全体の職員は、利用者様の「その人らしい生活」を真剣に考え、向き合う優しい人々であると実感しました。私はそのような人々に支えられて管理者でいられることが、「ありがたい」と心の奥底から感じている今日この頃です。もうすぐ今年も終わります。これからもこの方々と一緒に、力をお借りして、支えてもらいながら、地域のご期待にお答えできるマリアの家を作っていきたいと思っています。

神山区出前授業

ホスピス師長　桑原梨詠

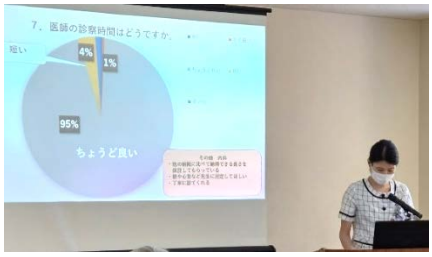
10 月 29 日（日）に神山区出前講座が開催されました。新型コロナ感染拡大のためにこの 3 年間は開催ができず、今年は 4 年ぶりの開催となりました。今回は当院のことをより良く知って頂くために、神山区区民の方を病院にお招きしての開催です。当日は夜中から明け方にかけて雷を伴う大雨でしたが、朝になるとすっかりと雨は上がり、気持ちのよい秋晴れの中、16 名の方が神山復生病院へお越しくださいました。まずは病院各部署の特性を知って頂くために、ホスピス病棟、介護医療院、訪問看護ステーションマリア、外来、在宅療養支援マリア診療所、小規模多機能型居宅介護支援事業所マリアの家を、各部署の管理者がスライドを使って説明を行いました。そしてその後は実際に各部署を回り、病院や施設の中を見学して頂きました。地元の神山区民の方でも病院の中に入るのは初めてという方が多くいらっしゃいました。外来の診療時間についてなどの質問を頂いたので、外来は比較的区民の方になじみがあると思いますが、ホスピス病棟や介護医療院についての特性はあまり知られていなかったのではないかと思います。今回、病院に足をお運び頂いたことで、神山復生病院のことをより身近に感じて頂けるようになったのではないでしょうか。神山区以外の地元の皆さんにも、神山復生病院をより広く知っていただきたいと思っております。出前講座の開催や病院の見学はいつでも受け付けておりますので、ご希望がありましたらぜひ病院へお問い合わせください。

医療安全推進月間

薬局　永井祐佳

今年も医療安全推進週間の時期となりました。すでにご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、毎年 11 月 25 日（いい医療に向かって GO）を含む 1 週間を医療安全推進週間と定め、全国各地の医療関係団体が様々な活動を行っています。当院では、昨年度に引き続き各部署で様々な QC 活動に取り組み、その発表を 11 月に行いました。発表を通して、他部署の事を理解できたり、参考になる事がありました。この活動を通し、患者さんの安全を守る意識を職員一人一人が高めていければと思っています。今年度も玄関ホールに取り組み内容を掲示しますので、ぜひご覧ください。これからも職員一丸となって医療安全に取り組んで参ります。

QC 活動とは、Quality（品質） Control（管理）」の頭文字をとったもので、病院で働くスタッフが「医療の質・安全・サービスを（Quality）向上していく（Control）改善活動」のことです。



遺族ケア

介護医療院　加藤健児

昨年 9 月から 1 年の間に当院で亡くなられた皆様を追悼するミサが、11 月 3 日（金）に病院聖堂にてカトリック御殿場教会の金神父様司式のもと行われました。

当院では、カトリック教会の教義で「死者の月」にあたる 11 月に遺族ケアとして追悼ミサを毎年開催してきました。ここ数年は、感染予防のため開催を見送ってきましたが、今年度は 44 名のご遺族に参加して頂き皆様と共に亡くなられた方々に思いを馳せ、お祈りを捧げる事ができました。式は粛々と進み、亡くなられた方々のお名前が読み上げられた際には、生前のお一人おひとりの穏やかな笑顔が私達スタッフの心に蘇り、温かな優しさに包まれた気持ちになりました。

また、久しぶりにご遺族の皆様とお会いし言葉を交わす事ができ、大切な人を失われた深い悲しみを経て、時が過ぎ普段通りの生活を送られている様子が伺えました。式が終わり、ご遺族の方から「このような追悼の場を設けてくれてうれしく思います。」とのお言葉を頂き、今年度は追悼ミサが無事に開催できて本当に良かったとスタッフ一同思いました。

亡くなられた皆様の魂が、天国の神様のもとで永遠の安息につけるように心よりお祈りいたします。

ホスピス病棟　久保智子

今年は 11 月 3 日（金）にお聖堂での追悼ミサのあと外来ラウンジで茶話会を開催いたしました。
コロナ禍により 2019 年 11 月を最後に対面での茶話会開催は控え、この 3 年間はご家族と手紙のやり取りを行っておりました。今年は 4 年振りにお顔を見ての開催となり、昨年 9 月から今年 6 月までに大切な方を亡くされたご家族にご案内をしました。

当日は先ず「わすれられないおくりもの」（ズーザン・バーレイ作･絵）のお話しを聞いて頂きました。臨床スピリチュアルケア師の大島さんの声はすーっと心に届き、緊張していらした方も気持ちがほぐれたのではないかと思います。その後テーブルごとにスタッフを交えて歓談しました。今回は 30 名弱の参加でこじんまりしていたので、ご家族、スタッフとも故人の思い出やご家族の今のご様子など、じっくりたくさんお話しができました。どのテーブルも涙と笑顔が溢れていました。最後に大切な方へのメッセージをカードに書きました。書いて頂いたカードは 1 枚の台紙に貼り、お一人おひとりの大切な思いを皆で共有することができました。

あっという間に時間は過ぎ、名残り惜しい気持ちでご家族をお見送りしましたが、自分の心の中がほっこり温かくなっているのを感じました。ご家族とお話しすることで私たちスタッフも癒された茶話会でした。

今回のおすすめ

『「エンタメ」の夜明けディズニーランドが日本に来た』　著者　馬場康夫　講談社

こちらの作品は東京ディズニーランド誕生までを描いたノンフィクションになります。１９７０年代後半に東京ディズニーランドを富士スピードウェイへ誘致する計画がありました。前半の見どころは三井不動産と三菱グループのプレゼンです。最終候補地として、三井不動産は千葉県浦安。三菱グループは富士スピードウェイに候補地を提示していました。後半は開園までに尽力した男達の話が描かれています。苦しくも楽しく開園に向かって働く姿が印象的でした。東京ディズニーランドの歴史を学びながら、ビジネス書の要素も盛り込まれた１冊になっています。興味がある方は是非読んでみてください。

（紹介者）地域連携室　高村弥憲

外 来 担 当 表

緩和ケア外来は予約制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科（中原）	内科（北村） 皮膚科 （加藤）	休　診	内科（江藤）	内科（江藤）	内科 （第 1. 3. 4 中尾） （第 2. 5 岡部） 皮膚科	休　診
午 後	休　診	休　診	休　診	休　診	休　診	休　診	

インフルエンザ予防接種の予約を行っています。ご希望の方は受付まで。

水曜日は休診となります。

皮膚科外来予定表

1月以降の診察は HP にてお知らせいたします。
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。

太田有史　医師	１２月　２日（土）
加藤芙未　医師	１２月　５日（火）・１２日（火）・１９日（火）・２６日（火）
	１２月　９日（土）
太田真由美医師	１２月１６日（土）
福地　修　医師	１２月２３日（土）

～皮膚科診療曜日変更のお知らせ～

令和5年5月より、皮膚科外来の診療曜日が水曜日から火曜日へ変更となっています。
担当医師は【加藤芙未医師】です。みなさんぜひご利用下さい。

お宅に訪問診療伺います

外来師長　草野三千代

病気の状態やご家族の状況によって病院受診ができない場合に、患者さんのご自宅へ医師と看護師が伺い、患者さんを診察させていただく、「訪問診療」を行っています。
医師の診察、内服薬の確認、状態観察を行うことで、患者さんとご家族の日常生活を支援しています。医師の指示のもと、ご自宅でも採血や点滴、傷の処置等も行っています。
何かお困りごとがありましたら、復生病院にお電話ください。

編集後記　今年は夏日が長く続き、11 月に入ってからは秋が一飛びして 12 月並みの寒さとなりました。この気候変動には、身体もついていくのが大変ですね。富士山も雪化粧をして楽しませてくれていますが、復生の紅葉は遅れがちで、まだ緑色が目立ちます。それでも復生の恵み、栗や銀杏は例年と変わらず、美味しく味わう事ができました。日差しも家の中まで届くようになり、休日には何か作業をしながらでも、ゆっくりと太陽の光を浴びて自律神経を整えるのもいいかもしれませんね。

次号もお楽しみに！　も